

Enterprise Premium 電子証明書発行サービス
Windows ストア電子証明書インストール手順書

Ver2.3

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

目次

1. はじめに.....	4
2. 実施手順.....	5
2.1. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順.....	5
2.2. 電子証明書インポート完了確認.....	11
3. SSL クライアント認証サイトの利用方法（参考）.....	16
4. 電子証明書の削除手順（参考）.....	17

改定履歴

改定日	版	内容	作成者
2015. 10. 07	1. 0	初版	ジャパンネット株式会社
2015. 11. 26	1. 1	2. 2. 電子証明書インポート完了確認 (6)、(7) を追加 3. SSL クライアント認証サイトの利用方法 (参考) を追加	ジャパンネット株式会社
2015. 12. 09	1. 2	証明書 ID の確認方法を追加	ジャパンネット株式会社
2016. 04. 08	1. 3	秘密キーの保護を協力にした場合、設定したパスワードが不明となった場合の手順 (補足 3) 及び「4. 電子証明書の削除手順 (参考)」を追加	ジャパンネット株式会社
2018. 07. 02	2. 0	合併に伴う社名変更	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2022. 05. 19	2. 1	MicrosoftEdge 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2024. 09. 11	2. 2	Windows11 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2025. 04. 01	2. 3	新会社設立に伴う社名変更	三菱電機デジタルイノベーション株式会社

1. はじめに

本手順書は電子証明書の Windows 証明書ストアへのインポートの手順になります。

本手順書に掲載している画像は OS : Windows11、ブラウザ : Microsoft Edge のものです。お客様がご利用になる OS やブラウザバージョンにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、お願い致します。

本手順書でインポート可能な電子証明書は PKCS#12 形式の電子証明書となります。提供媒体が下記の場合該当します。

- ダウンロード※
- CD-R
- USB メモリ

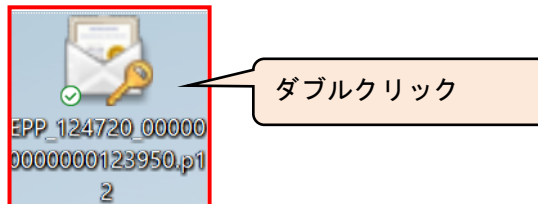
※セキュリティの観点から証明書ファイルはインストール後、速やかにバックアップをメディアなどに保存することをお勧めします。

2. 実施手順

2.1. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順

- ※ Windows 証明書ストア以外へのインポート手順はお客様企業のシステム管理者の方等にご確認ください
- ※ セキュリティの観点から提供媒体内の証明書ファイルは端末上に保存しないことを推奨いたします。(ダウンロードの場合はインストール後、速やかにバックアップをメディアなどに保存することをお勧めします。)
- ※ 提供媒体内の証明書ファイルは大切に保管ください。(弊社ではセキュリティの観点からバックアップを保持していないため、紛失時などの再発行はご対応できません。)

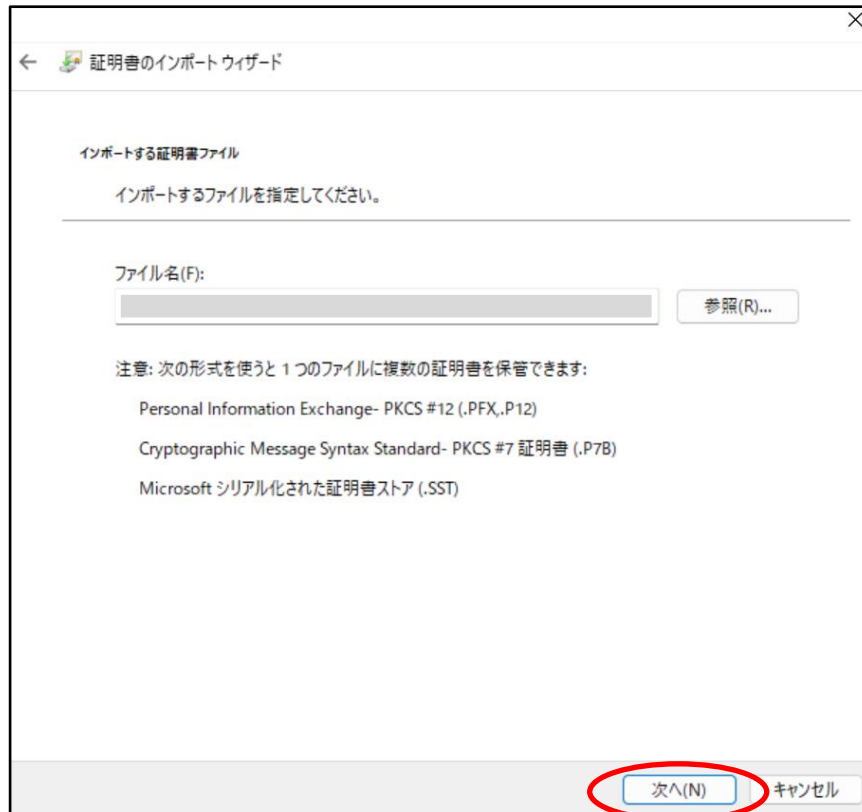
提供媒体内の証明書ファイル(ダウンロードの場合はダウンロードしたファイル)をダブルクリックします。



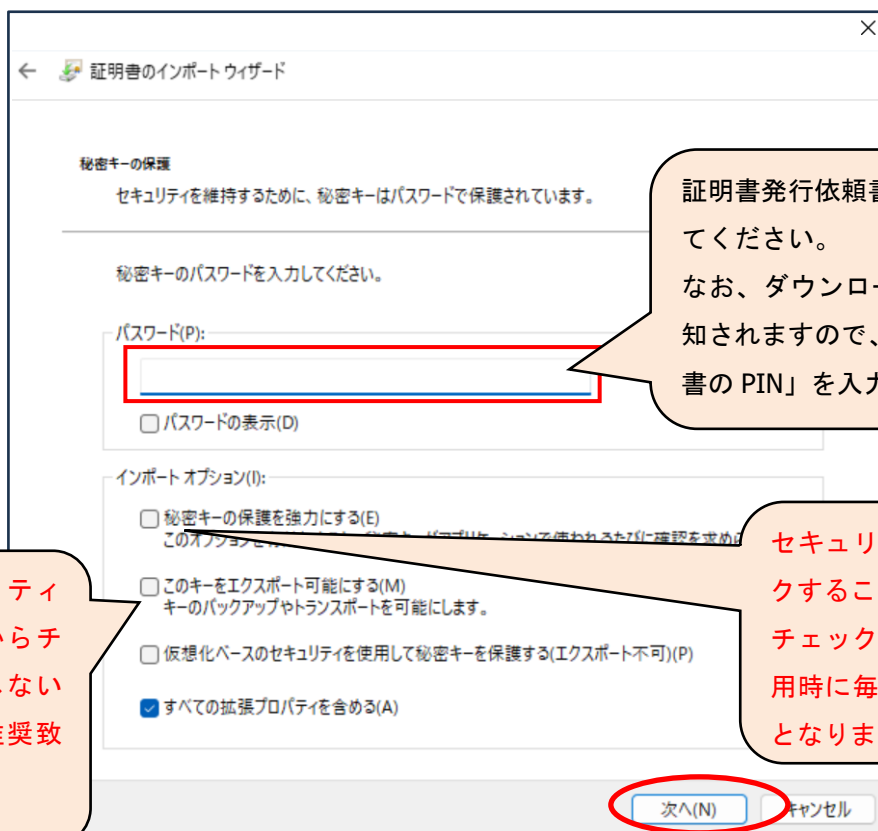
- (2) 「証明書のインポート ウィザードの開始」画面が開くので、「次へ(N)>」をクリックします。



(3) 「次へ(N)>」をクリックします。



(4) 「パスワード」欄に、メールに記載されている「電子証明書の PIN」※¹を入力し、「次へ(N)>」をクリックします。



セキュリティの観点からチェックしないことを推奨致します。

証明書発行依頼書内の証明書 PIN を入力してください。
なお、ダウンロードの場合はメールでも通知されますので、記載されている「電子証明書の PIN」を入力してください。

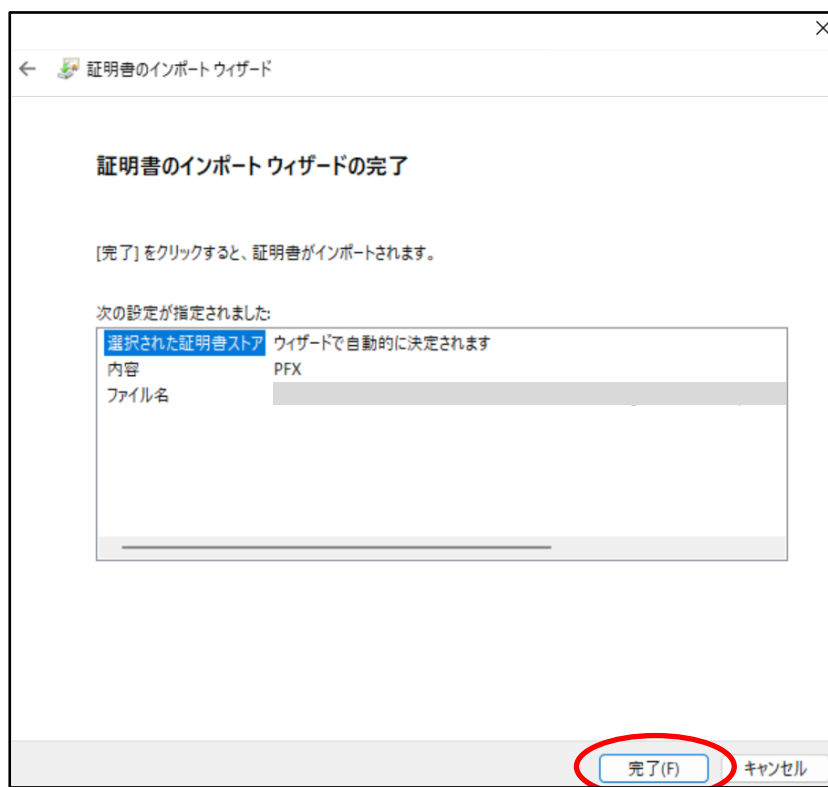
セキュリティの強化のため、チェックすることも可能です。
チェックすることで電子証明書ご利用時に毎回パスワードの入力が必要となります。

※¹ 証明書発行依頼書やメールに記載されている「電子証明書の PIN」はお客様によっては「クライアント証明書 PIN(パスワード)」と記載されている場合があります。

- (5) 「証明書の種類に基づいて・・・選択する(U)」にチェックがついていることを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。

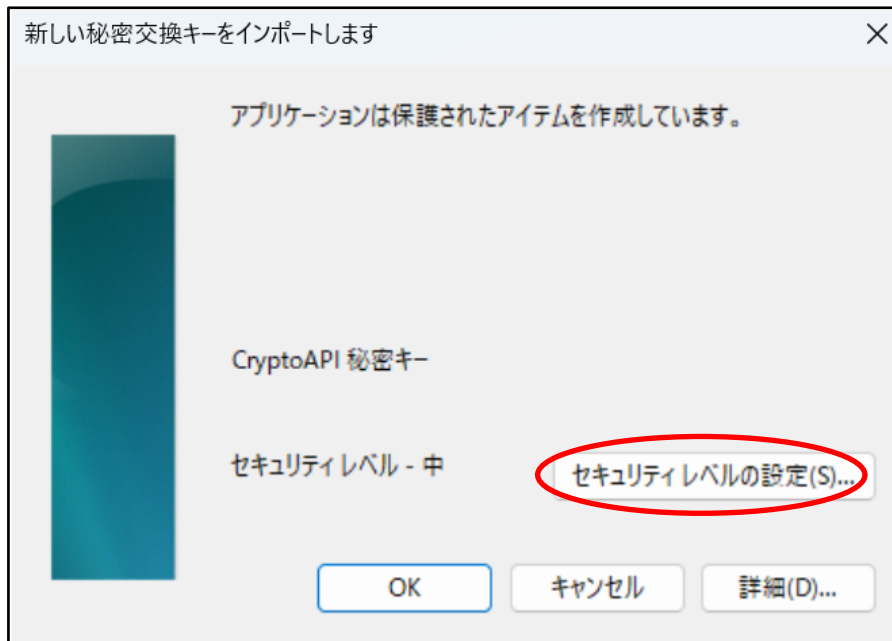


- (6) 「完了」をクリックします。

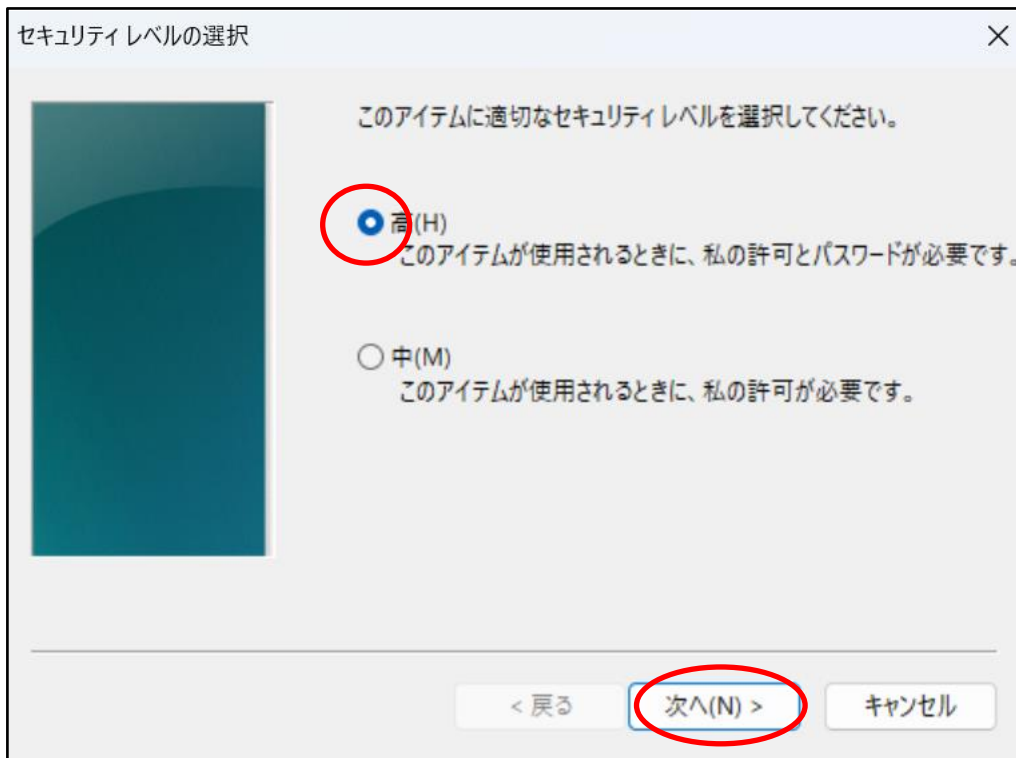


「2.1 (4) 秘密キーの保護を強力にする」をチェックした場合、下記手順が追加されます
※チェックされていない場合は（補足 1）～（補足 4）の手順は不要です。

（補足 1）「セキュリティレベルの設定 (S)」をクリックします。



（補足 2）セキュリティレベル「高 (H)」をチェックし、「次へ(N)>」をクリックします。



(補足 3) 「パスワード」欄に、パスワードを入力し、「完了(F)」をクリックします。

※下記パスワードは電子証明書ご利用時に毎回確認されるパスワードになります。お客様のパスワードポリシーに従いパスワードを設定ください。

※設定した本パスワードが不明となった場合、本電子証明書を削除（本手順書「4. 電子証明書の削除手順（参考）」を参照）の上、改めてインポートし、再設定ください。

パスワードの作成

このアイテムを保護するための、パスワードを作成します。

このアイテム用に新しいパスワードを作成する。

CryptoAPI 秘密キー のパスワード:

パスワード:

確認入力:

< 戻る 完了(F) キャンセル

(補足 4) 「OK」をクリックします。

新しい秘密交換キーをインポートします

アプリケーションは保護されたアイテムを作成しています。

CryptoAPI 秘密キー

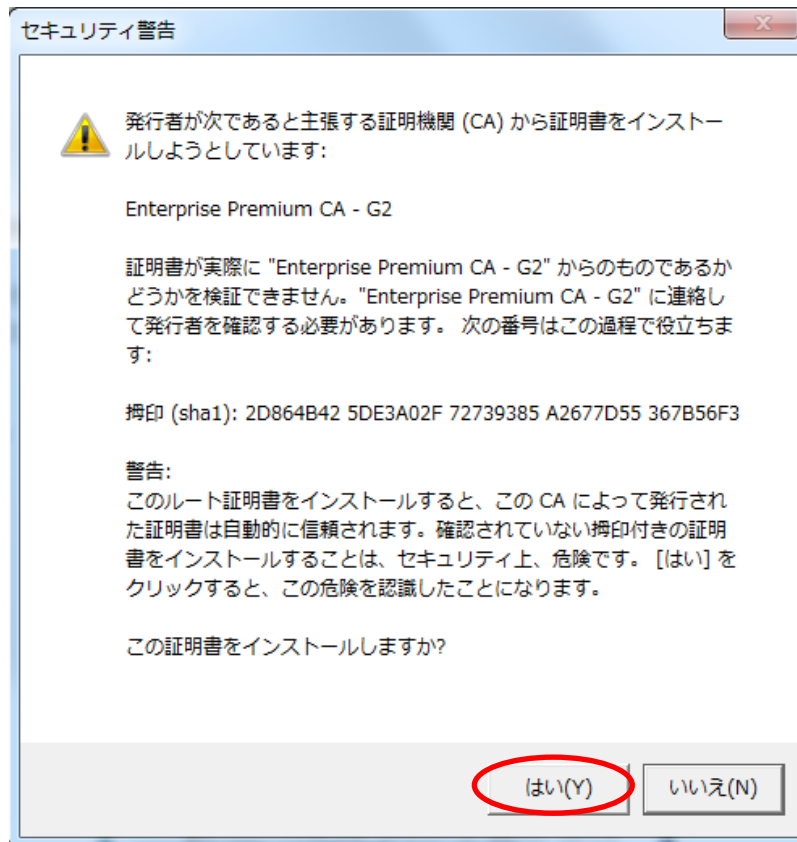
セキュリティレベル - 高

セキュリティレベルの設定(S)...

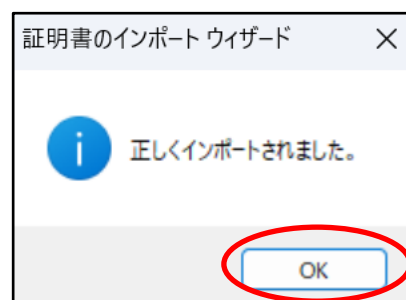
OK キャンセル 詳細(D)...

(7) 下図のような「セキュリティ警告」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。

※既に下記の証明書がインポートされている場合、下記画面は表示されませんので(7)の手順は不要です。



(8) 「OK」をクリックします。



2.2. 電子証明書インポート完了確認

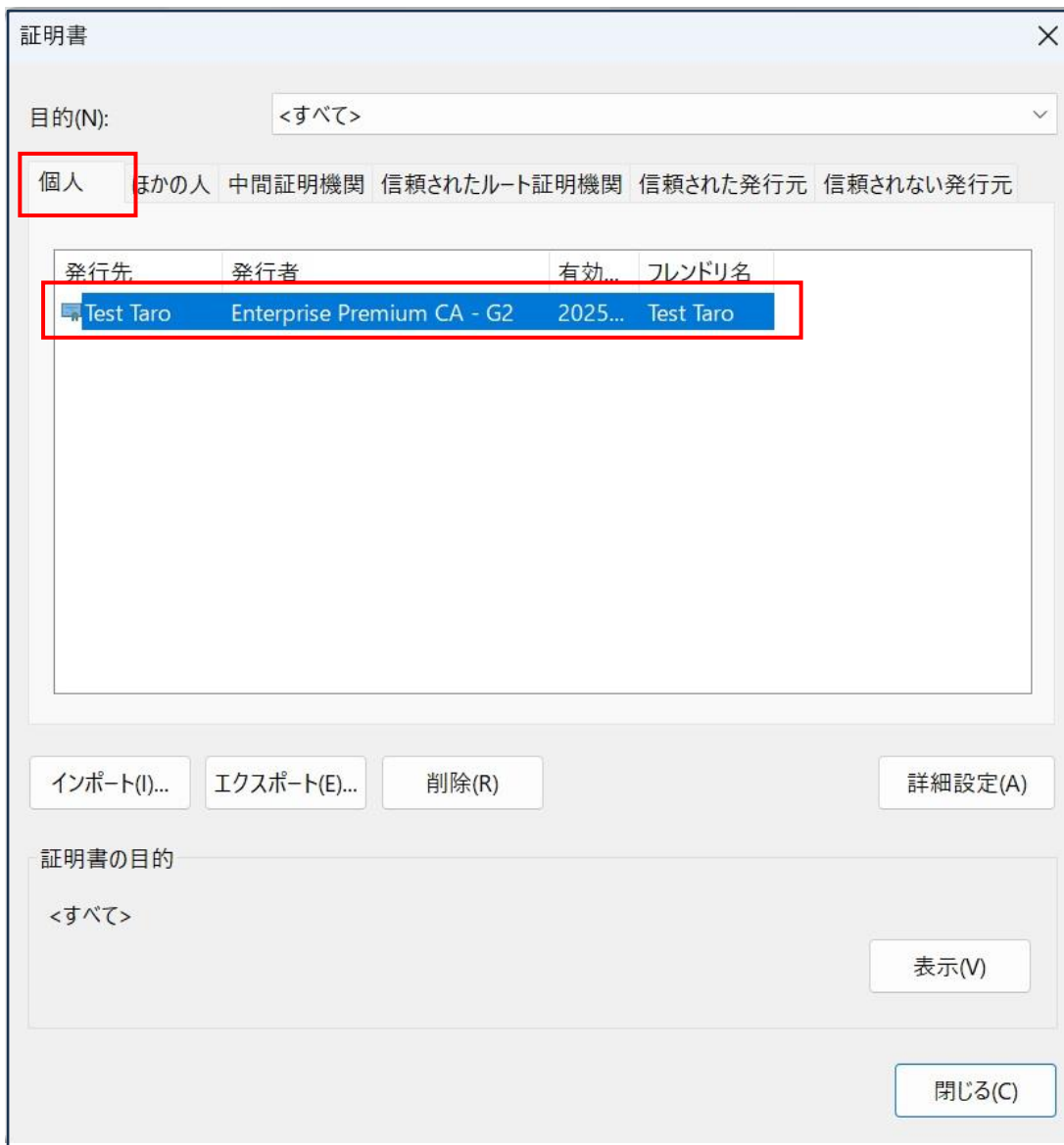
(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



(2) 「設定」画面が表示されるので、左のメニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面のセキュリティ項目にある「証明書の管理」をクリックします。



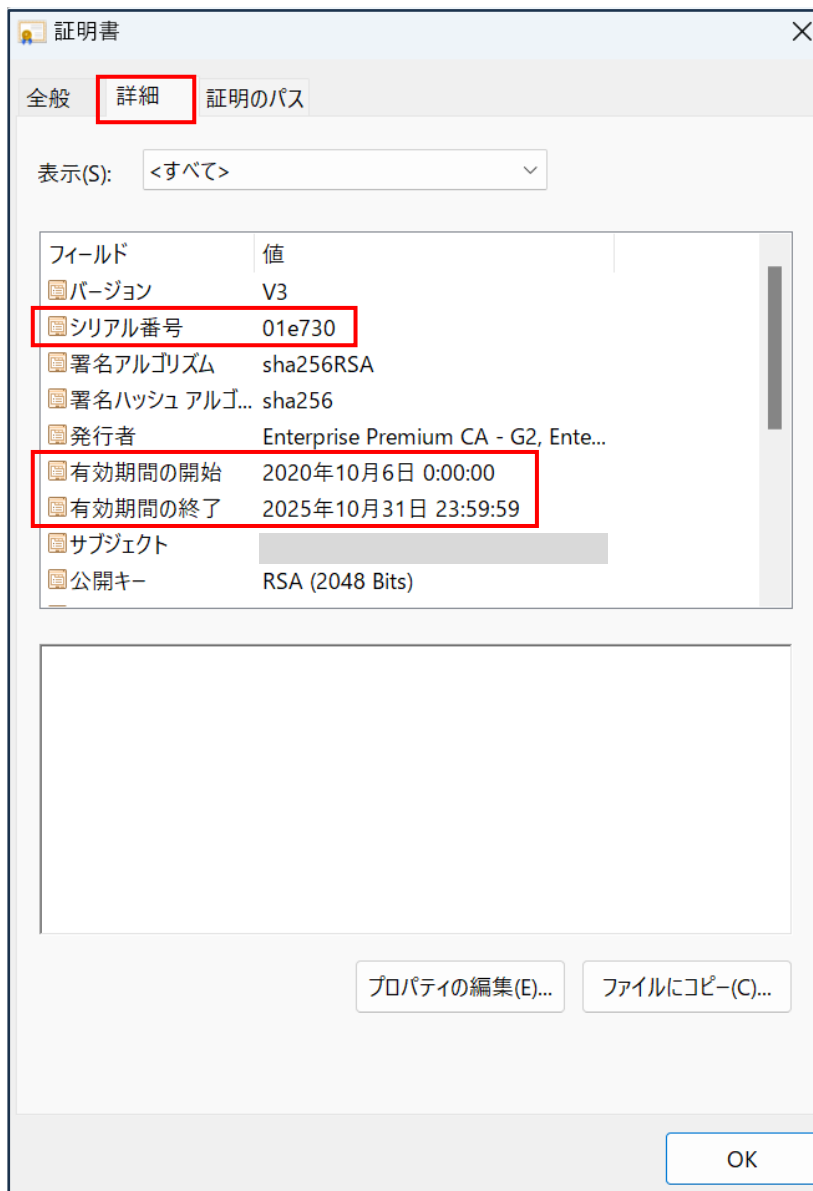
- (3) 「証明書ストア」の「個人」タブを開きます。「発行先」に指定した共通名の証明書があることを確認します。



(4) 証明書をダブルクリックします。証明書の情報が表示されます。



- (5) 証明書のシリアル番号等の詳しい情報は「詳細」タブに表示されます。
証明書のシリアル番号は「シリアル番号」の右に16進数で表示されます。
証明書の有効期間については「有効期間の開始」、「有効期間の終了」として表示されます。



証明書 ID の確認方法は画面を下にスクロールし、サブジェクトをクリックします。下の枠を確認頂き ES から始まる英数字が証明書 ID となります。



(6) 右下の「OK」ボタンをクリックし、画面をを閉じます。

以上で電子証明書のインポートは完了です。

3. SSL クライアント認証サイトの利用方法（参考）

- (1) 証明書を利用するホームページへアクセスします。
- (2) 証明書選択画面が表示されます。インポートした証明書を選択し、「OK」をクリックします。

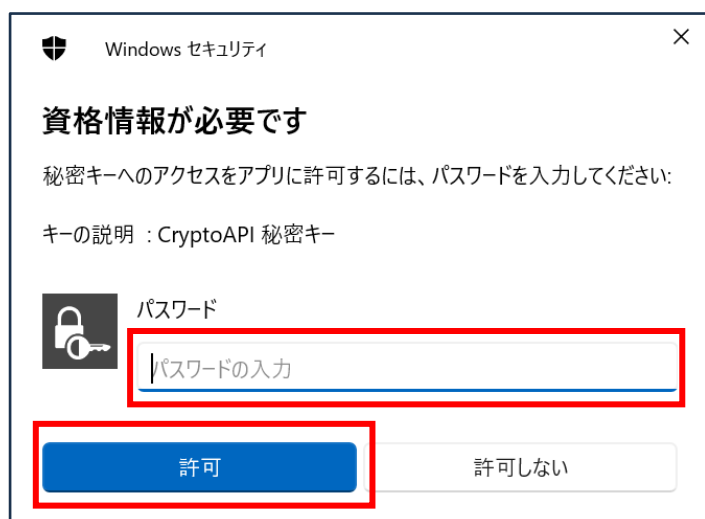


※ブラウザの設定により表示されない事があります。

「インターネットオプション」-「セキュリティ」タブの「インターネット」ゾーン-「レベルのカスタマイズ」設定の「既存のクライアント証明書が1つしか存在しない場合の証明書の選択」が「有効にする」の場合、表示されません。

※手順 2.1 (4)で「秘密キーの保護を強力にする」へチェックした場合、キーを使用するためのアクセス許可の要求画面が表示されます。

「パスワード」へ手順 2.1(4)で設定したパスワードを入力し、「許可」をクリックします。



- (3) ホームページが表示されます。(以上)

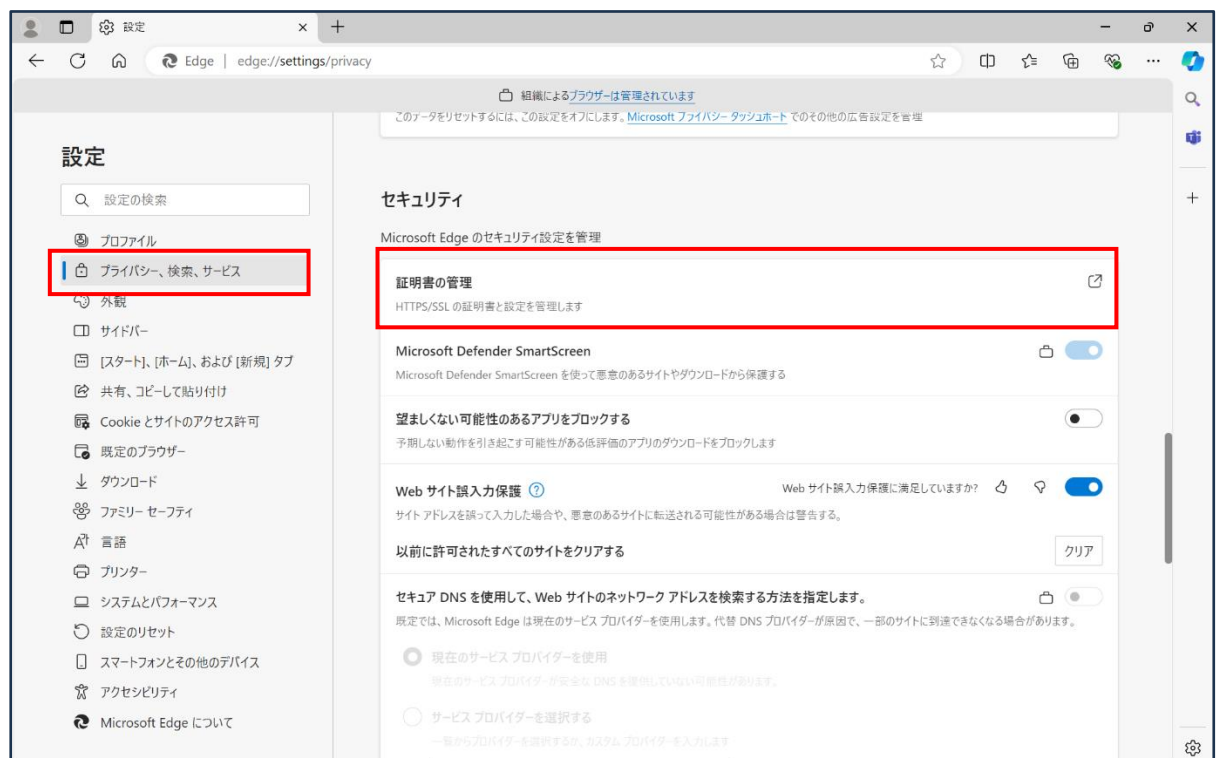
4. 電子証明書の削除手順（参考）

注意：本手順を実施すると電子証明書が利用できなくなります。再度、電子証明書をインポートする場合はバックアップ存在していることを確認の上、実施ください。

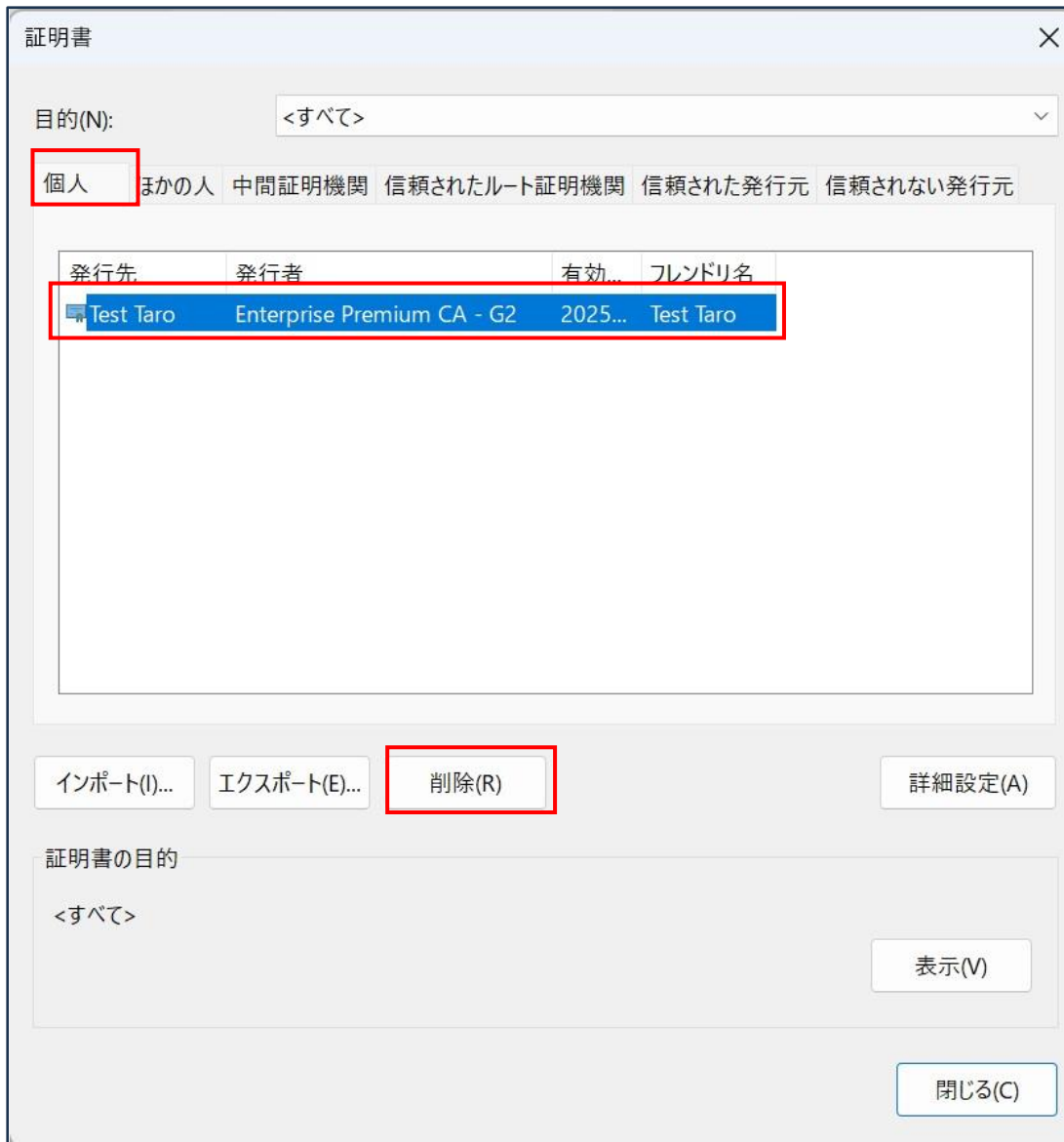
(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



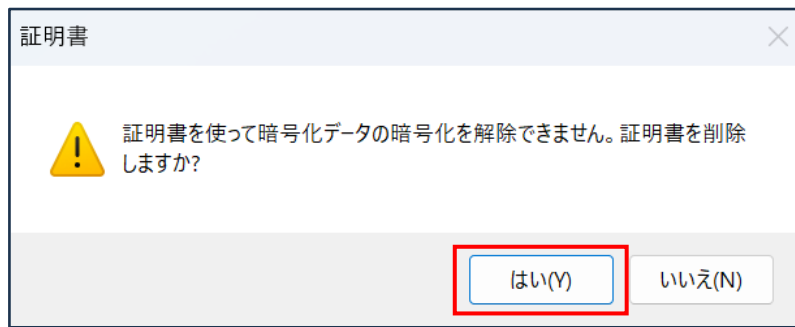
(2) 「設定」画面が表示されるので、左側メニューから「プライバシー、検索、サービス」選び、右画面から「証明書の管理」をクリックします。



(3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開きますので削除する証明書を選択し、「削除(R)」をクリックします。



(4) 「はい(Y)」をクリックします。



(5) 上記(3)の画面で削除されていることを確認ください。